

バージョンアップガイド



Version 8.68
(8.6x~用)

【 も く じ 】

バージョンアップ作業の前に ～必ずお読み下さい～	1
1. 作業手順	2
2. 現在のef・Bitz・P'sでの作業	3
2-1. マスターファイルの保存	3
2-2. 物件データの保存	7
3. ef新バージョンのインストール	10
4. コンバート作業	15

バージョンアップ作業の前に ～必ずお読み下さい～

ef、ef・Bitz、Bitz・P's、P's Version8.68 へのバージョンアップを行います。
バージョンアップによる注意点は、下記の通りです。**必ずお読み下さい。**

■バージョンは、ef、efと Bitz、Bitz、P's、P's を Version8.68 に揃えて下さい。

見積物件、マスターをサーバーで管理し、共有でご利用の場合は、ご使用になっている全てのefを Version8.68、Bitzを Version8.68、P'sを Version8.68 へバージョンアップしてください。

■必ず、ガイドに沿って操作して下さい。

■インストールやプログラムの削除作業を行うには、Administrator の権限が必要です。

インストールやプログラムの削除作業が行えない場合は、まずパソコン起動時のユーザーが Administrators グループに所属しているかをご確認下さい。

※インストール・アンインストール実行時のメッセージについて

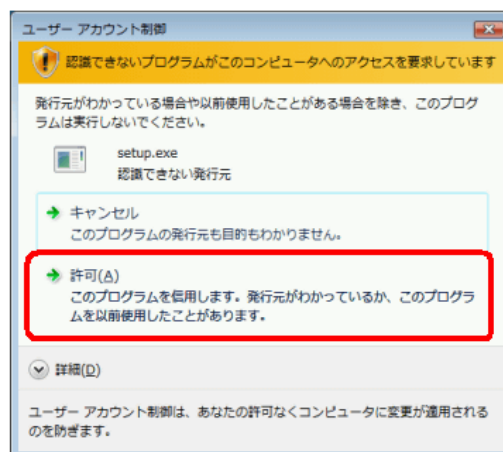
インストールやアンインストール実行時、

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

右画面が表示されるので「許可(A)」をクリックします。

環境によっては、はい・いいえの選択表示が出ます。

「はい(Y)」をクリックしてください。



■必ず、ef、Bitz、P's のデータ保守と物件管理のコピー/貼付を使用して保存/復帰をおこなってください。

ef、Bitz、P's の機能以外でのバックアップディスクへの書き込みや書戻しをされたことが原因と考えられるエラーやトラブルにつきましては弊社では対応いたしかねますのでご了承ください。

■面倒でも必ずバックアップディスクを作成して下さい！

バージョンアップ作業を始める前に必ず、このバージョンアップガイドに沿ってマスターファイルと見積物件データ全てのバックアップディスクを作成して下さい。

また、日常でも定期的なバックアップディスクの作成をお願いします！！

ef、Bitz、P's では、登録されているマスターファイルが財産です。

もし、何らかの要因でマスターファイルが壊れたり、消去された場合、ユーザー様または当社でも全く同じ内容を作成する事は大変難しく、**多大な時間と費用が発生**することになります。

そのような状況に陥らないためにも、登録しているマスターファイルを変更された時には必ず、また定期的にもバックアップディスクの作成を行うように心掛けて下さい。

1. 作業手順

①現在の ef・Bitz・P's での作業

マスターファイルの保存

↓

物件データの保存

↓

インストール前に ef の終了

↓

②新バージョン (Version8.68) のインストール

↓

コンバート作業(P.15)

**【注意】物件・マスターを共有でご利用の場合は、
全ての ef/Bitz/P's のバージョンアップが終わってから実行して下さい。
旧バージョンでの ef/Bitz/P's では利用できなくなります。**

準備するもの

- ・ PLANEST ef (Bitz or P's) Version8.68 製品CD
- ・ バックアップ用ディスク
(外付 HDD/サーバー/USB メモリ/フロッピーディスク/MO 等、ツールを使用せずに書込み可能なディスク)


<※バックアップ用ディスクを見積物件やマスター保存に使用する際の手順>

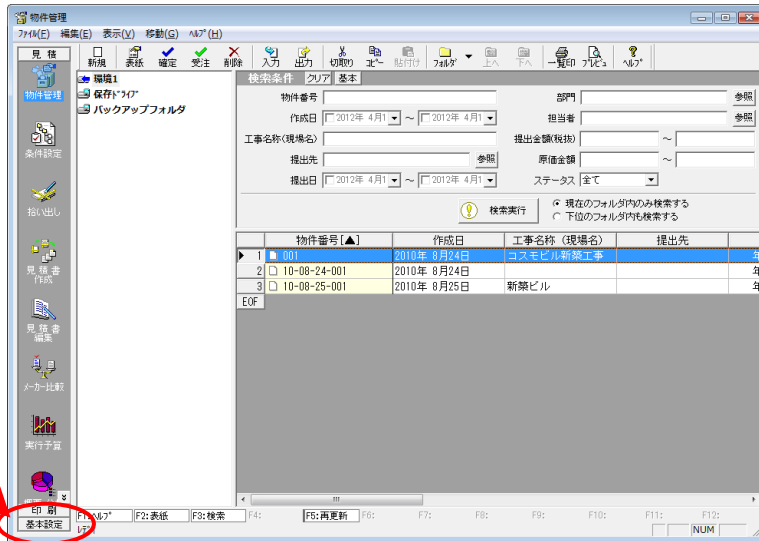
1. バックアップ用ディスクにマイコンピュータ・エクスプローラーなどで予めフォルダを作成します。
2. ef を起動し、基本設定－環境設定－タブ[保存ドライブ]を開き、
バックアップ用ディスクドライブと作成したフォルダを指定します。
例) バックアップ用ディスクに「201511」というフォルダを作成している場合
バックアップ ○: ¥201511 ¥

2. 現在の ef・Bitz・P's での作業

2-1. マスターファイルの保存

Bitz →  P's →  置き換えて下さい。


1. デスクトップにあるアイコン  [PLANEST ef (Bitz or P's) VersionX.xx] をダブルクリックします。
2. 現在のefの物件管理画面が開きます。
メニューのタブ[基本設定]をクリックします。

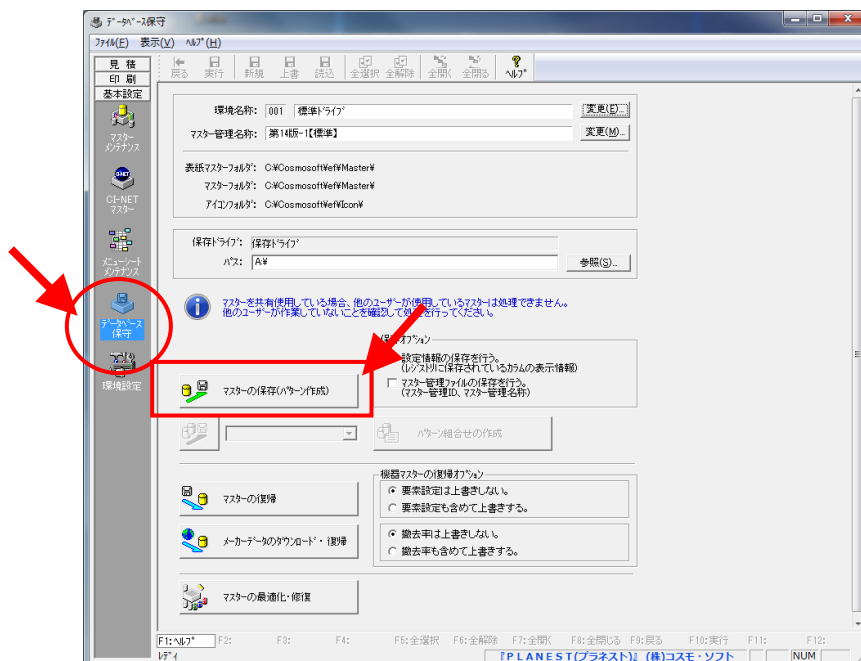


3. 基本設定のメニューが開きます。  (データベース保守) をクリックします。

4. データベース保守のメニューが開きます。
環境名称を確認します。


複数環境でご利用の場合は、各環境でマスターファイル、物件ファイルの保存作業を行なってください。

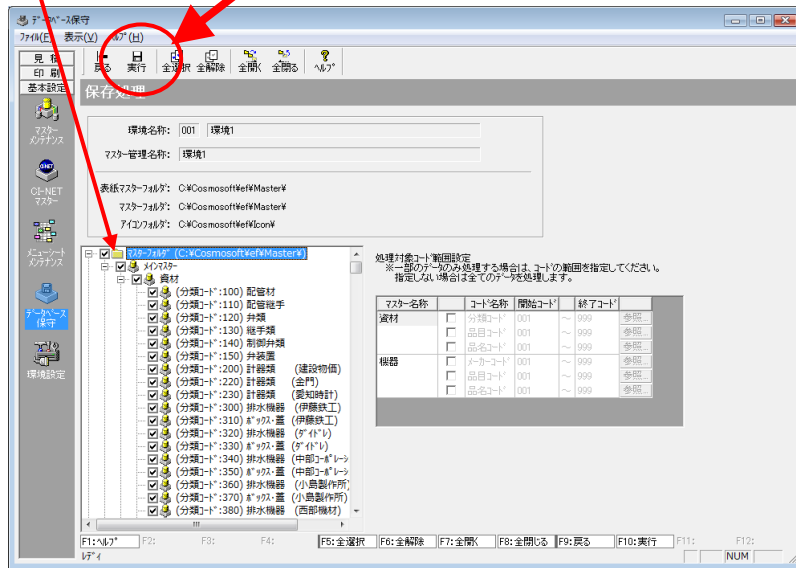
 マスターの保存(ハラン作成) をクリックします。



5. 保存処理ダイアログが開きます。

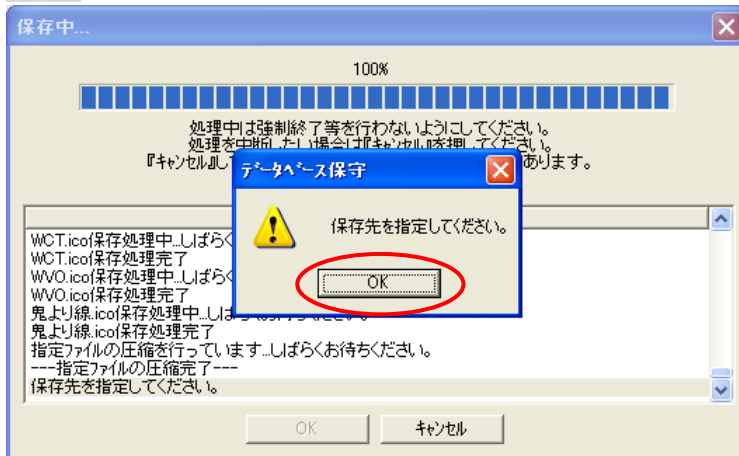
マスター全てが保存対象(チェックボックスにチェックマーク有)になっていることを確認し、

 をクリックします。



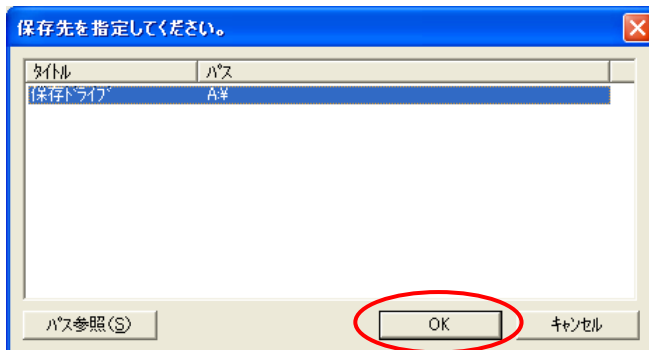
6. しばらくするとマスター保存処理が終了し、データベース保守ダイアログが開きます。

OK をクリックします。

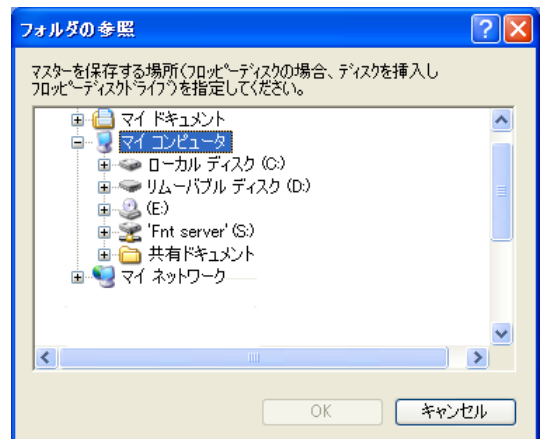


7. バックアップ用ディスクを準備します。

開いたリストから保存先を選択し、OK をクリックし、保存を開始します。

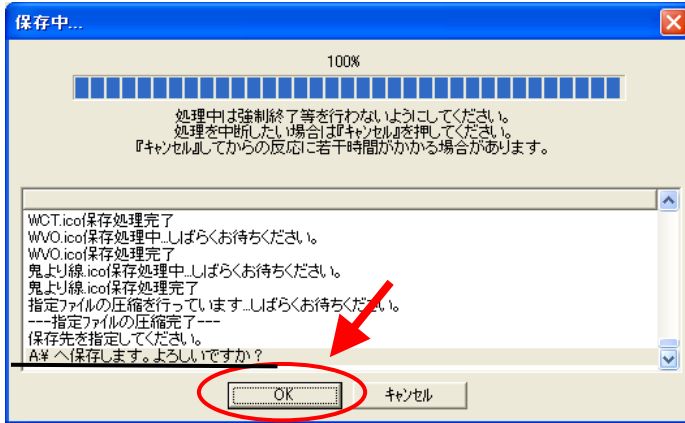


■ リストにないドライブやフォルダに保存する場合 ■
 パス参照(S) をクリックし、右のフォルダ参照ダイアログを開き、選択します。



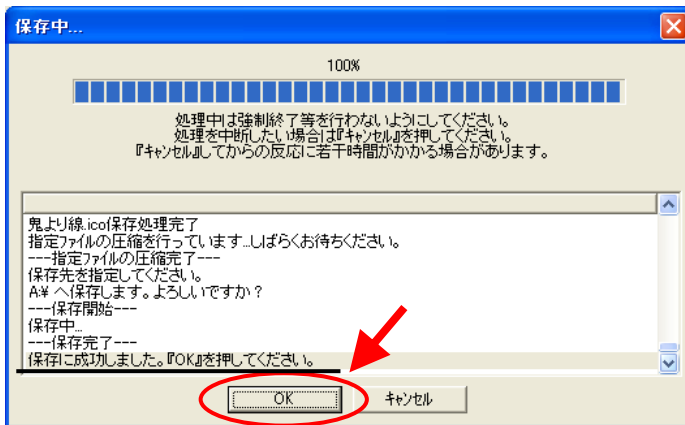
8. リストやフォルダ参照機能で選択した保存先を再度確認するメッセージが表示します。

OK をクリックし、保存を開始します。



9. 保存終了後、ダイアログに“保存に成功しました。『OK』を押して下さい”と表示します。

OK をクリックします。



10. データベース保守のメニューに戻ります。

次にマスターファイルが保存できているか確認します。



必ずご確認下さい！

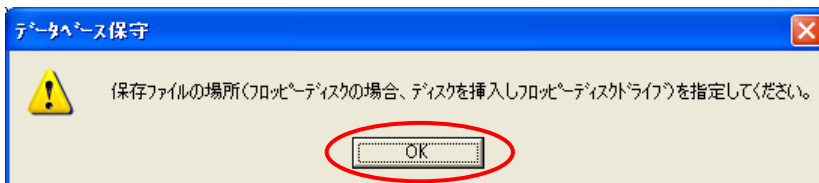


マスターの復帰

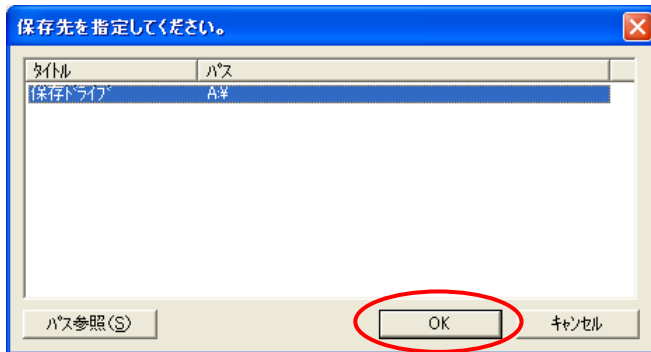
をクリックします。

11. 保存場所を指定するメッセージが開きます。

バックアップしたディスクドライブ (HDD等) を準備し、**OK** をクリックします。



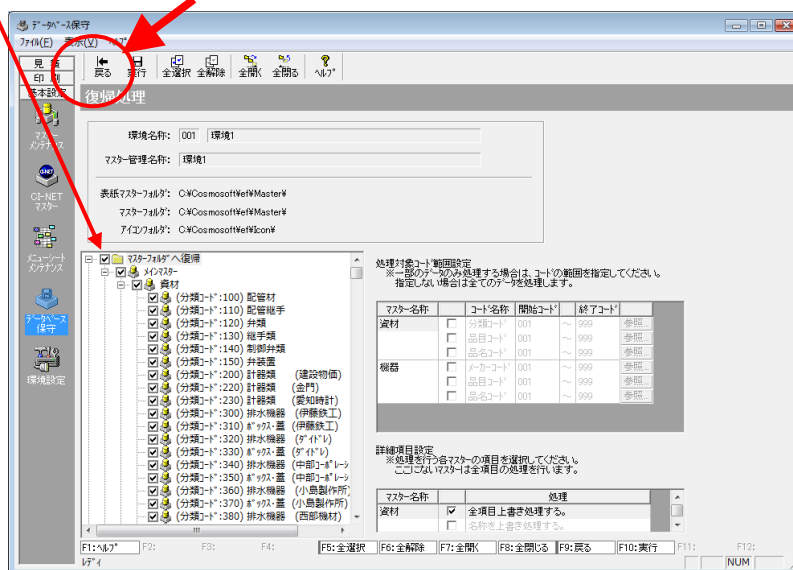
12. 保存場所を指定するダイアログが開きます。
開いたリストから保存しているドライブを選択し、OK をクリックします。



13. マスター復帰ダイアログが開きます。
マスター全てが復帰対象(チェックボックスにチェックマーク有)になっていることを確認します。

復帰対象になっていないマスター
(チェックボックスにチェックマークが
無)がある場合は、もう1度「4」から
全てのマスターの保存をおこなって
下さい。

14. 確認後、 をクリックし、
データ保守ダイアログに戻ります。

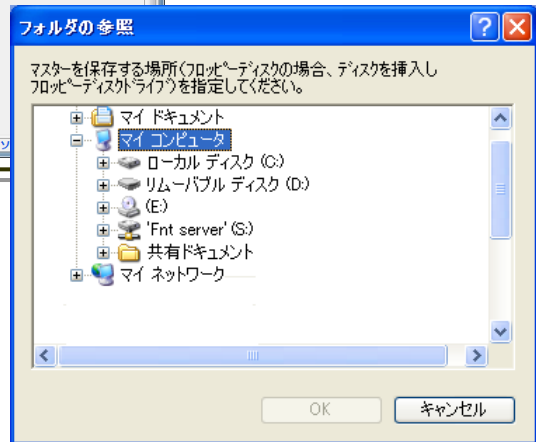
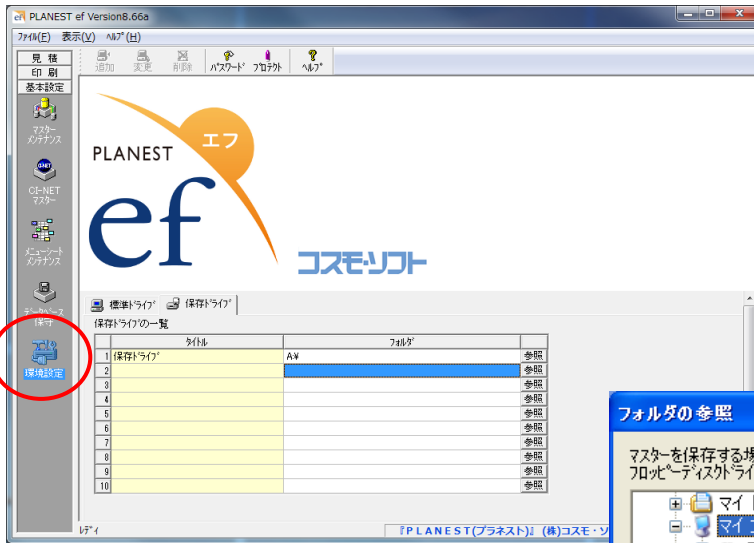


2-2.物件データの保存

■リストにないドライブやフォルダに保存する場合■

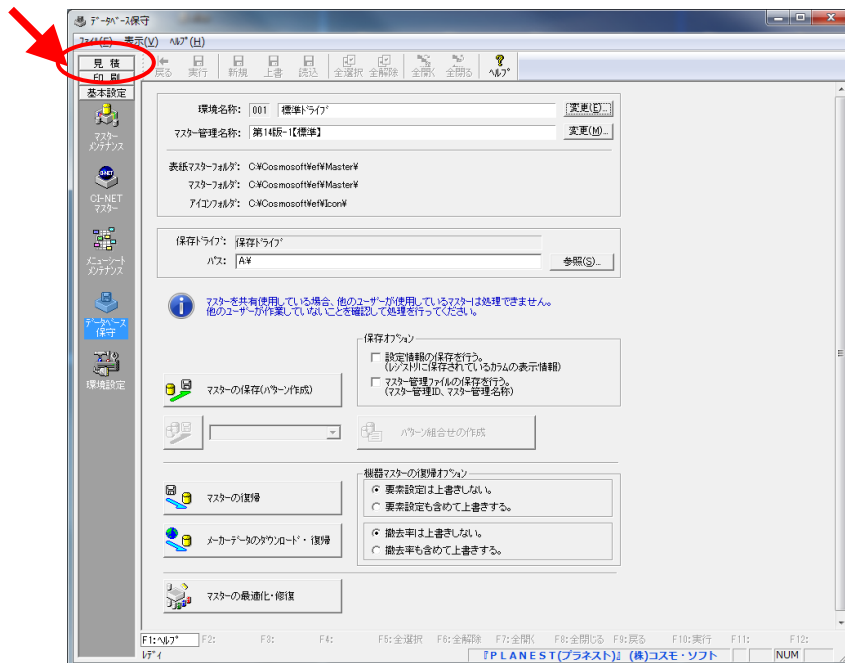
保存ドライブにHDDドライブの登録がないと選択できません。

保存ドライブの設定は、メニューバー[基本設定]—[環境設定]でおこないます。



参照 をクリックし、右のフォルダ参照ダイアログを開き、選択します。

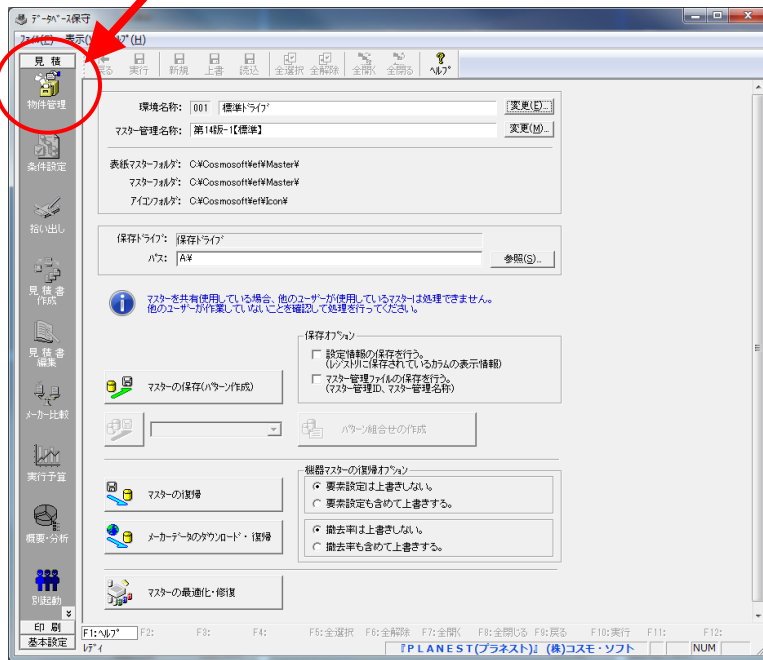
1. 基本設定メニューから見積メニューに切替えます。
メニューのタブ[見積]をクリックします。



2. 見積のメニューが開きます。

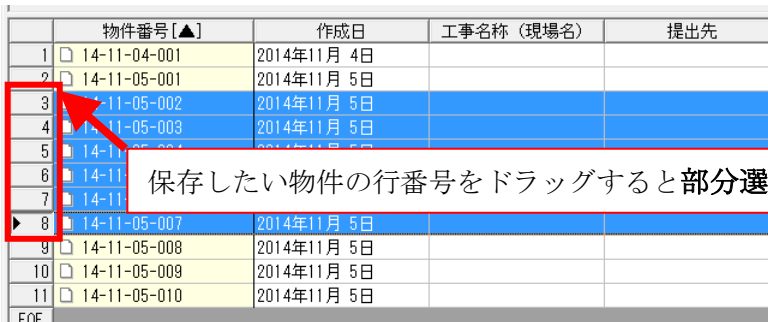
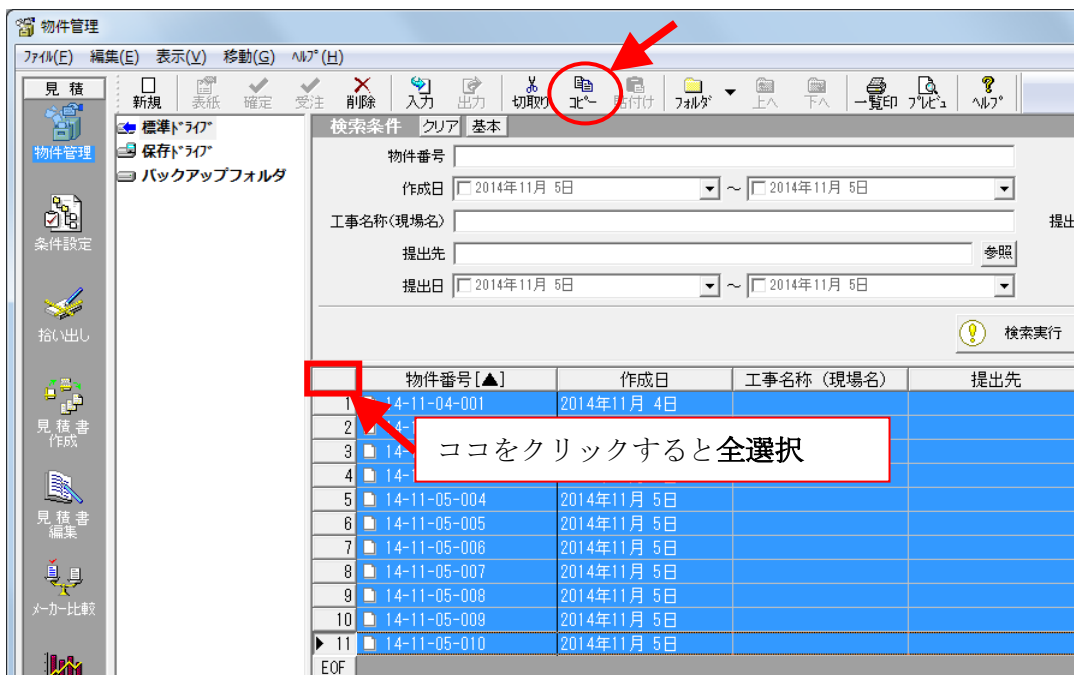


(物件管理) をクリックします。



3. 物件管理画面が開きます。


保存する物件を選択(全選択・部分選択)します。

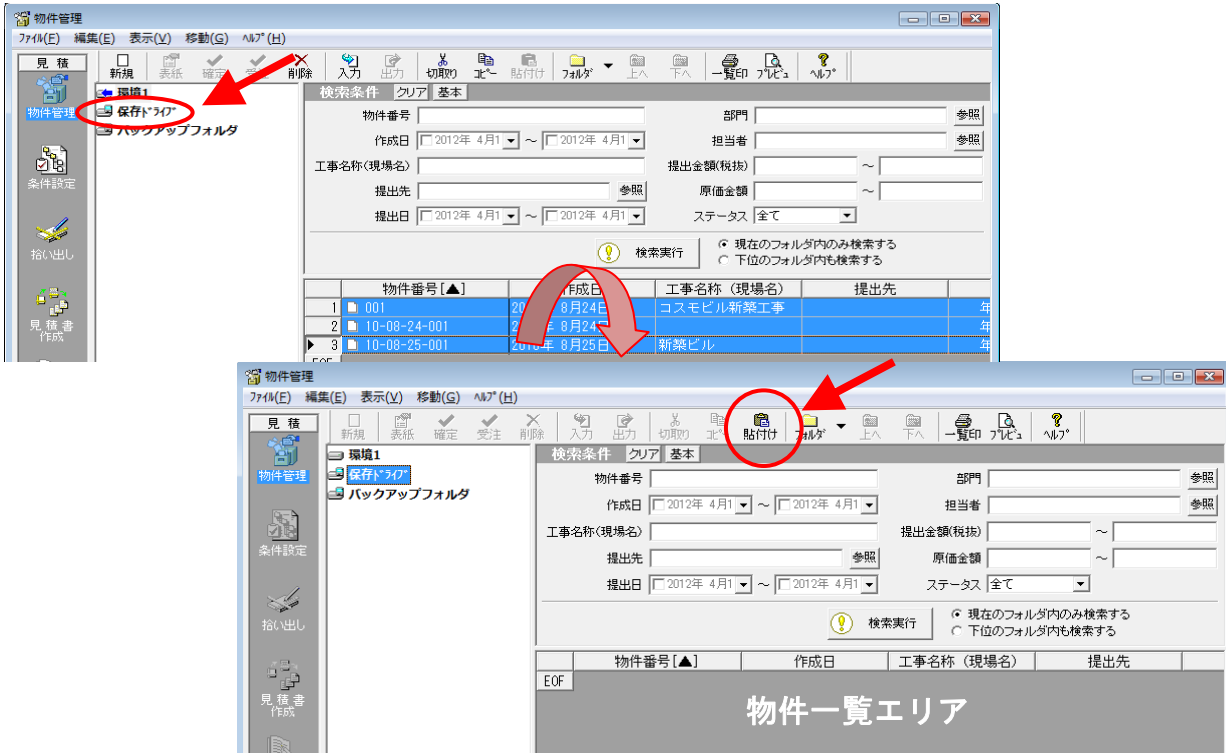


物件を選択後、



をクリックします。

4. ツリーから[保存ドライブ]をクリックして、物件一覧エリアを切替えて  をクリックします。

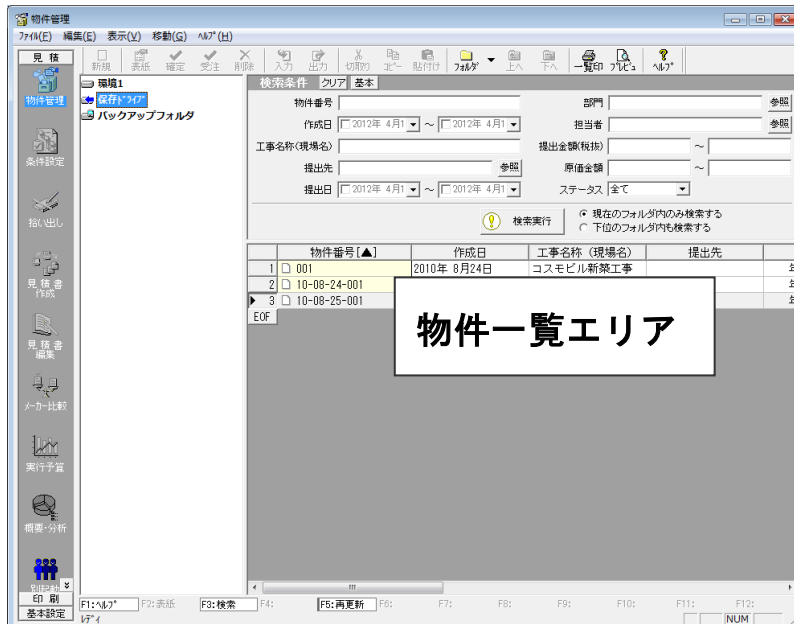


5. 右のような保存中の画面が表示されます。



6. 保存作業が終わると保存ドライブの物件一覧エリアに保存した物件が表示します。


複数環境でご利用の場合は、各環境でマスターファイル、物件ファイルの保存作業を行なってください。




以上で「3. 現在の ef・Bitz・P's での作業」は終了です。

3. ef 新バージョンのインストール

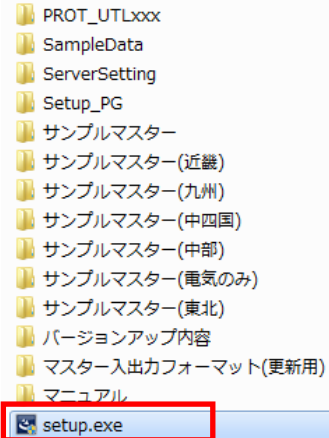
ソフトのインストール

 ソフトをインストールする場合は、起動しているソフトは全て終了させてください。

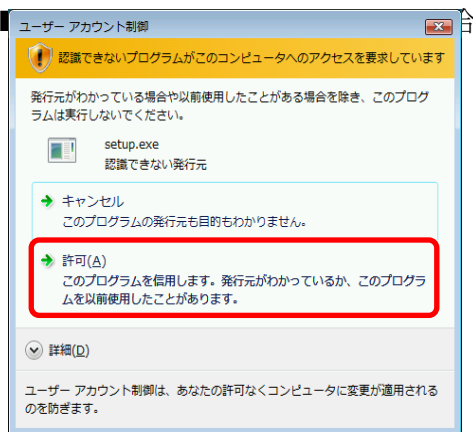
1. PLANEST ef 製品CDをドライブに挿入します。

2.  コンピュータまたはエクスプローラで
CDをダブルクリックして開きます。

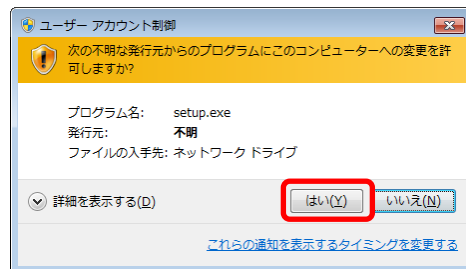
3. CD内の **Setup.exe** をダブルクリックして実行します。



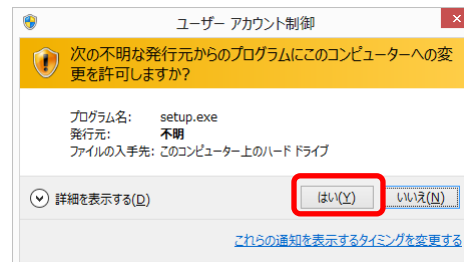
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可」または「はい」を選択してください。



■ Windows7 / Server2008R2 の場合




■ Windows8 / Windows 8.1 / Windows 10 Server2012 / 2012R2 の場合

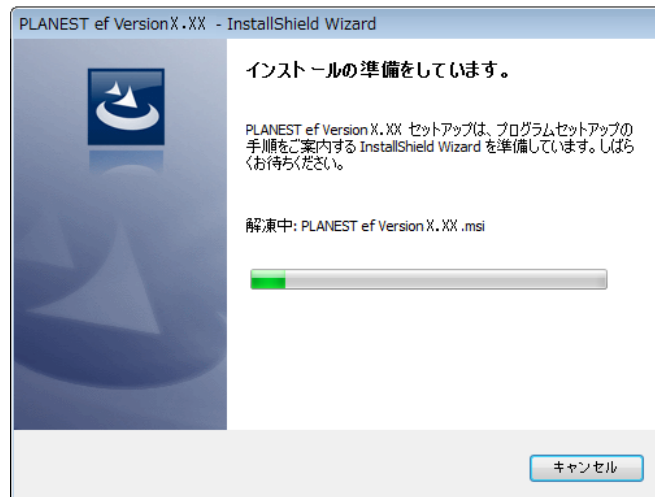


4. システム再起動のメッセージが表示された場合、すぐに再起動する方を選択します。

「はい」を選択して、再起動させます。

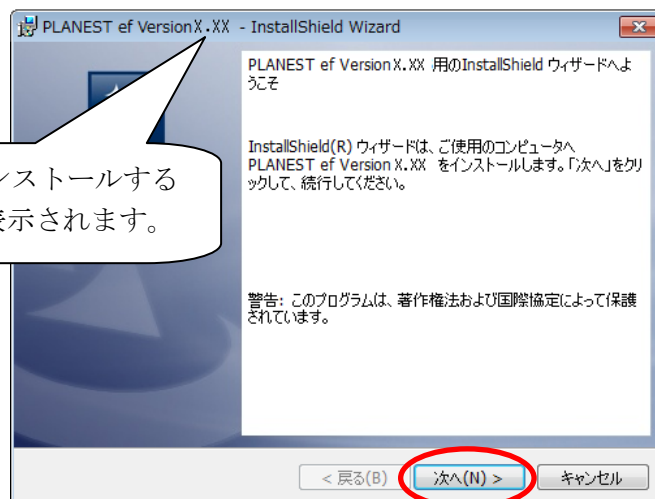
 このメッセージはOSによって出る場合と出ない場合があります。

5. インストールの準備中です。

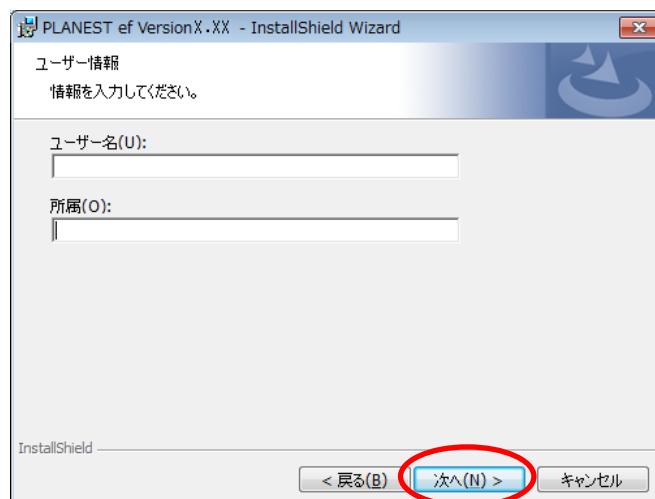


6. セットアップウィザードが起動します。【次へ(N)】ボタンをクリックします。

x.xx 部分はインストールするバージョンが表示されます。

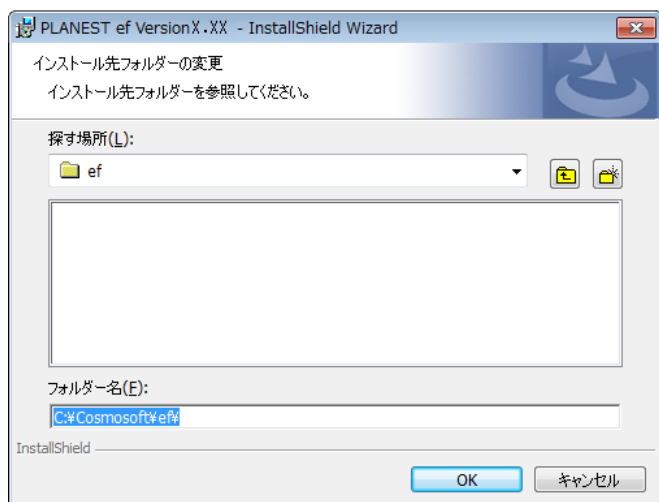
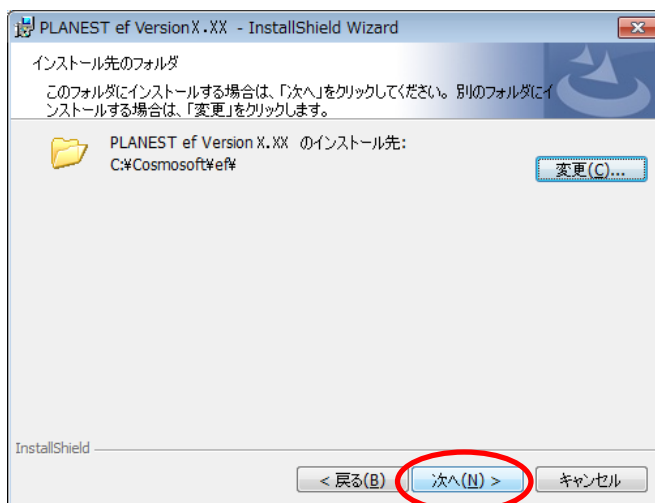
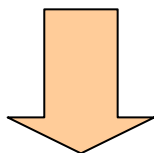



7. ユーザー情報を入力し、【次へ(N)】をクリックします。



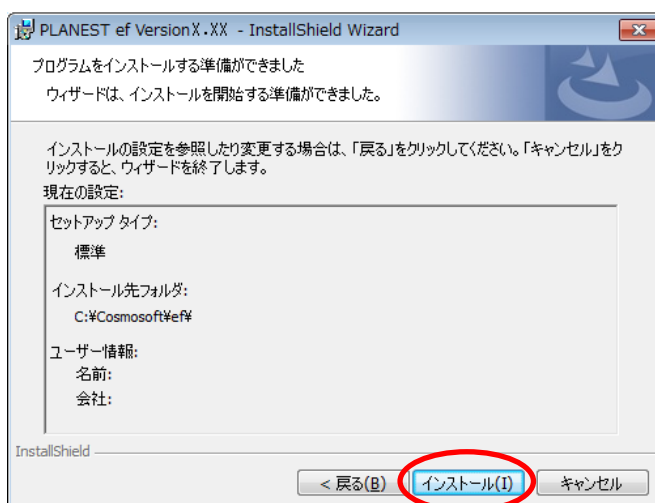
8. インストール先を確認します。このままで良ければ【次へ(N)】をクリックします。

インストール先を変更する場合は、**【変更(C)】** ボタンをクリックします。

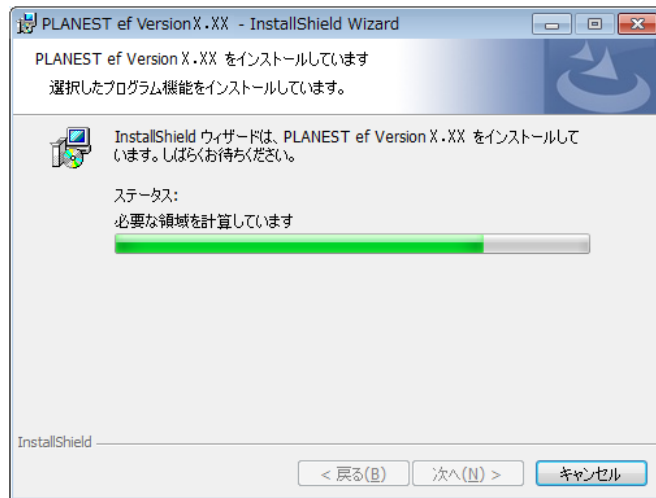


インストール先を指定して、**【OK】** ボタンをクリックします。
 を使うと、一つ上のパスへ進みます。

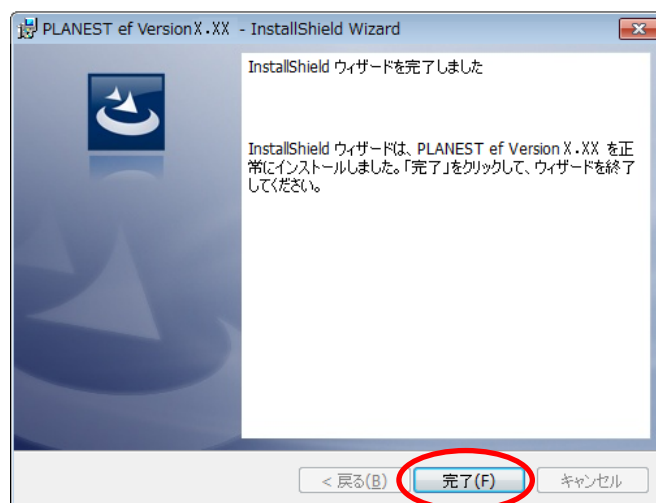
9. インストールの設定内容を確認して**【インストール(I)】** ボタンをクリックします。



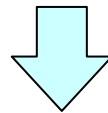
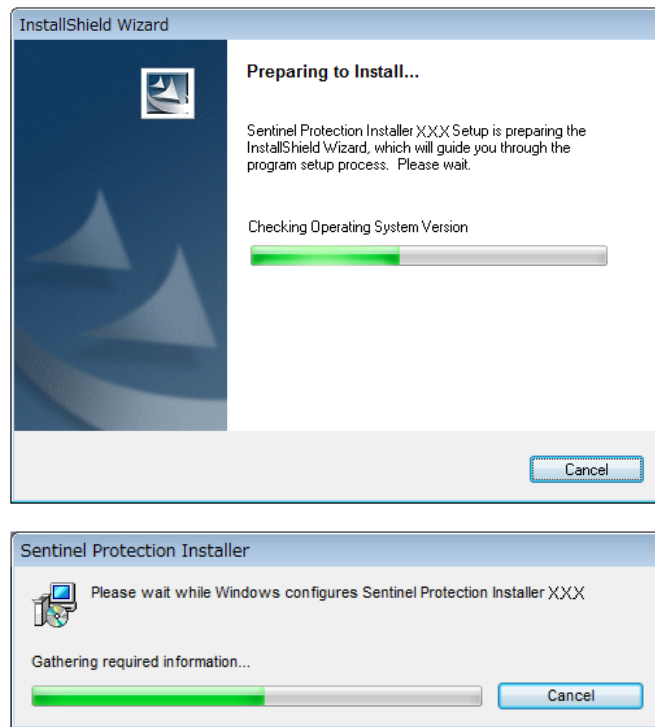
10. インストール中の画面です。



11. インストールが完了しました。【完了(F)】ボタンをクリックします。

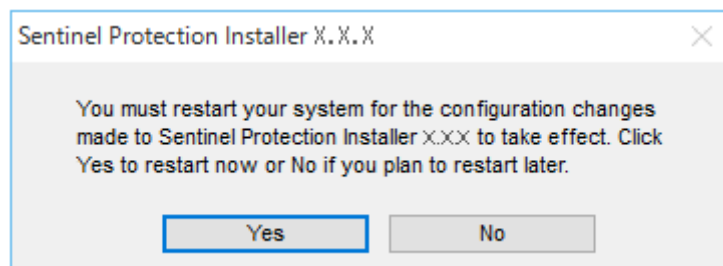


12. プロテクトドライバーがインストールされます。



12. の画面が消えたら、「3. ef・Bitz・P's 新バージョンのインストール」の作業は終了です。

⚠ もし、下記のようなメッセージが表示された場合は、【Yes】ボタンをクリックして Windows を再起動して下さい。



4. コンバート作業(新バージョンへの変換)


Version8.6x ではマスターや物件の構造が変わったため、旧バージョンのマスターや物件をコンバートする必要があります。(※既に Version8.6x をご利用されていた場合はこの作業は不要です。)

【ご注意！】物件、マスターを共有でご利用の場合

全ての ef/Bitz/P's のバージョンアップが終わってから実行してください。



旧バージョンのef/Bitz/P'sでは利用できなくなります。

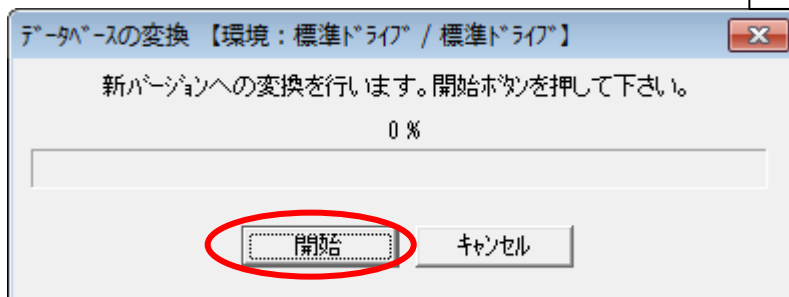
バージョンアップ直後に ef を立ち上げた場合や、バージョンアップ後に過去の物件を開いた場合に、「データベースの変換」という画面が表示される場合があります。
表示された場合は、[開始]ボタンをクリックしてデータベースの変換を実行してください。

1. デスクトップにあるアイコン  [PLANEST ef(Bitz or P's)Version8.68]をダブルクリックします。

2. 下記のようなデータベース変換画面が開きます。

【開始】ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。

Bitz →  P's → 
と置き換えて下さい。



⚠ 「データベースの変換」画面は、【環境設定】に設定されているタブの数だけ表示されます。
(保存ドライブを除く)

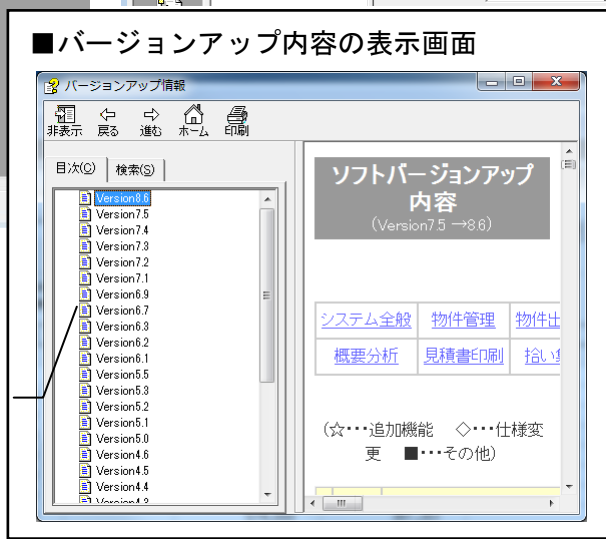
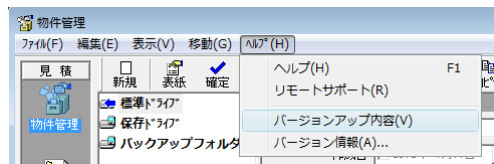
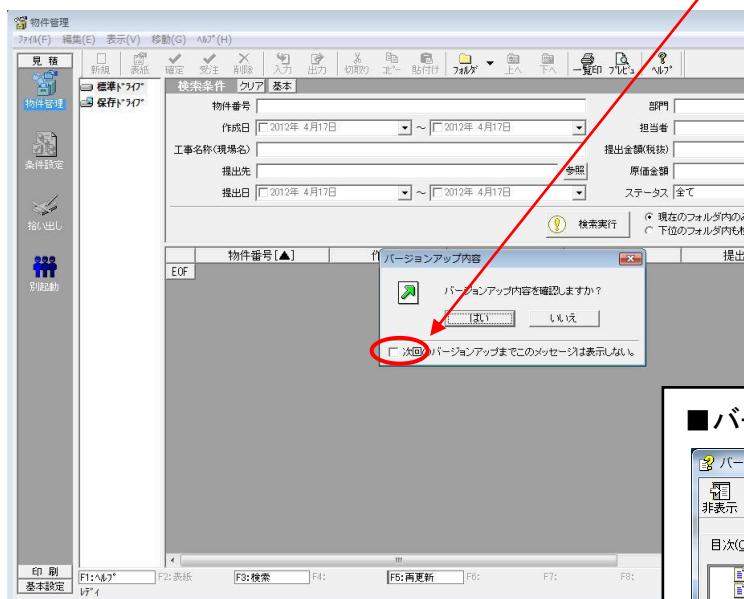
1つの環境での変換が完了したら、次の環境の「データベースの変換」画面が表示されますので、
【開始】ボタンをクリックして、変換を実行します。



3. バージョンアップ内容ダイアログが開きます。
必要に応じてバージョンアップ内容を確認して下さい。

！ 次回からバージョンアップ内容の画面を表示させない場合は画面左下のチェックを入れて下さい。
チェックをいれてもバージョンアップ内容は、いつでも確認できます。

ef(Bitz or P's)を起動し、物件管理画面の左上のメニューバー「ヘルプ」をクリックし、メニュー「バージョンアップ内容」をクリックすれば下と同じ画面が開きます。

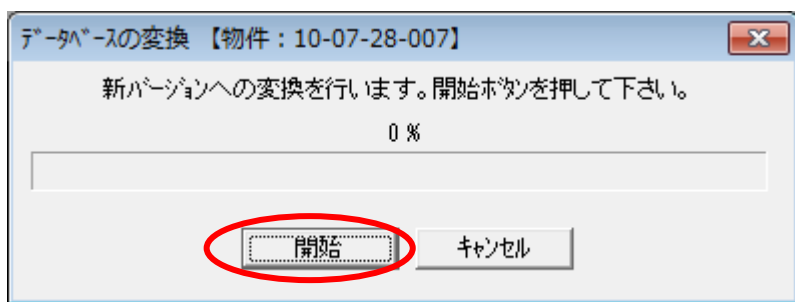


画面左には、これまでのバージョンが表示しています。
クリックすると内容を確認できます。

物件を開く時

バージョンアップ後に、物件管理で過去の物件を開こうとした時に、下記のようなデータベースの変換画面が表示されます。

【開始】ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。



！ 物件は、1物件ずつのコンバート作業になります。
全ての物件のコンバート作業を行わなくてもいつでも可能です。
旧バージョンの物件を選択すると必ず変換画面が開きます。

以上で ef・Bitz・P's Version8.68 のインストールが完了しました。
お疲れ様でした。